



環境経営レポート

2023年度版

(2023年4月～2024年3月までの活動報告)

黒部エムテック株式会社

作成日: 2024年8月22日

文書NO.	EA21-1-8-1
作成	安全環境チーム

目 次

1. 事業概要		1
2. 事業活動の紹介		2
3. 環境経営方針		3
4. 中期環境経営目標		3
5. 対象範囲		4
6. 環境経営目標と実績		5
7. 環境経営活動の取組内容と 取組結果及び今後の課題		6
8. 2024年度の環境経営目標と 取組内容		7
9. 環境関連法規等遵守状況の確認		8
10. 代表者による全体評価と見直し		8
11. 環境経営活動の紹介		9

1. 事業概要

(1)	事業者名	黒部エムテック株式会社		
(2)	代表者	代表取締役社長	坂井 一夫	
(3)	所在地	富山県黒部市吉田200番地		
(4)	創立	昭和43年1月26日 黒部電気工事株式会社を設立		
(5)	事業内容	1. 電気工事、電気通信工事、消防施設工事、管工事 機械器具設置工事の設計・施工・保守管理及び工事の請負 2. ビル管理に関する業務の受託及び請負		
(6)	許可・登録等	建設業許可番号	富山県知事許可 電気工事業 (特一2) 第3194号 管工事業 (特一2) 第3194号 消防施設工事業 (般一2) 第3194号 電気通信工事業 (般一2) 第3194号 登録電気工事業番号 富山県知事届出 第5004号	
(7)	拠点	本社	富山県黒部市吉田200番地 六天資材センター 富山県黒部市六天751番地	
(8)	事業の規模	資本金	28百万円 売上高 4,091百万円 2024年3月期 従業員数 83名 (2024年4月1日現在) 社長、派遣社員含む	
(9)	担当者及び連絡先	環境管理責任者	取締役 太田 鋭次 事務局 安全環境チーム 稲場 由香 TEL 0765-54-8665 FAX 0765-57-0251	

2. 事業活動の紹介

環境に配慮したサービス・設備の提供

YKKグループの一員として、YKKおよびYKK AP各施設の照明LED化や変圧器、空調設備の効率化等環境に配慮した電気配管設備工事やメンテナンスサービスなどを実施しています。

電気設備部門

電気工事、電気通信工事、消防施設工事



太陽光発電工事(カーポートタイプ)



高効率(アモルファス)
変圧器を導入

受変電設備更新(高効率変圧器導入)

配管設備部門

管工事、空調工事、水道施設工事



空調熱源改修工事



井戸メイン配管連結及び工業用水メイン配管更新

施設管理部門

変電所管理、施設管理、消防設備管理



特高変電所 定期点検作業



ダクト内自動消火設備設置工事

3. 環境経営方針

黒部エムテック株式会社 環境経営方針

【基本理念】

黒部エムテック株式会社は、YKKグループ環境宣言に基づき「環境との調和」を事業活動の最優先課題と位置づけ、企業活動を通じて環境負荷低減への積極的な取り組みと継続的な改善により「未来の豊かな自然と生活の実現」に貢献します。

【基本方針】

1. 環境負荷低減への積極的な取り組みと継続的な改善
 - ・環境負荷低減に関する最新情報の収集と技術取得を積極的に進め、環境に配慮した設計および施工に努めます。
 - ・インフラ設備、付帯設備の適切な管理と更新により、エネルギー供給の安定化と効率化を図ることで、環境負荷低減に寄与します。
 - ・企業活動に伴う環境負荷を低減するために、電気、化石燃料、水等の資源利用の削減と効率化を図ると共に廃棄物の削減、再利用、再資源化に取り組みます。
2. 環境コンプライアンスの維持と向上
 - ・環境関連法規、条例等を遵守し環境経営レベルの継続的向上を図ります。
3. 環境教育
 - ・全従業員に対して、環境経営方針ならびに環境への取り組みを周知する共に環境保全活動への参加を積極的に進めます。
 - また、関係する取引先に当社の取り組みについての理解と協力を働きかけます。

制定 2006年10月1日

改訂 2023年4月1日

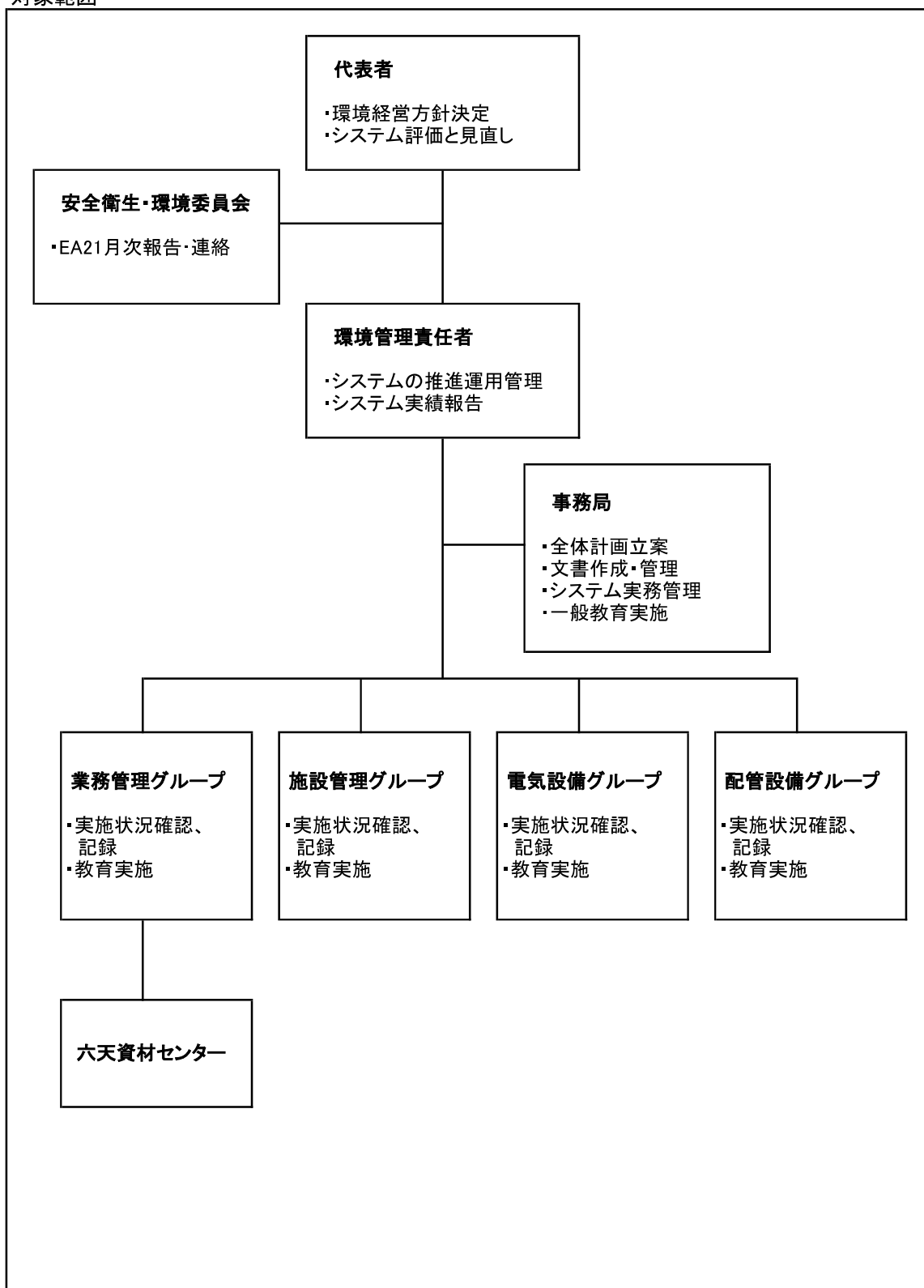
黒部エムテック株式会社 代表取締役 坂井 一夫

4. 中期環境経営目標

項目	中期環境経営目標	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
電気	2024年度までに、本社事務所の受口と照明の電気使用量を2020年度(27,843kWh)比18%削減する。 (計画見直しにより17%削減となる)	27,000kWh	27,000kWh	24,000kWh	23,000kWh
	2024年度までにエアコン・換気扇等の電気使用量を、2020年度(34,815kWh)比4%削減する。(麵コーナー使用量除く)	33,000kWh	33,000kWh	33,000kWh	36,000kWh
燃料	2024年度までに、軽四、普通車の燃費の向上をはかり燃費14.5km/L以上とする。	軽四、普通車の燃費 14.5 km/L	軽四、普通車の燃費 14.5 km/L	軽四、普通車の燃費 14.5 km/L	軽四、普通車の燃費 14.5 km/L
水	黒部エムテック事務所棟の年間水使用量を、1,380m3以下を維持する。	1,100 m3	2,150 m3	1,250 m3	1,380 m3
産業廃棄物	再資源化率を99%以上とする。 (廃石綿等を含む)	再資源化率 99%以上	再資源化率 99%以上	再資源化率 99%以上	再資源化率 99%以上
紙類	年間21万枚をベースに、各年の売上高計画 百万円当り 33枚を加算し、各年の基準値とする。2024年度までに基準値に対し購入量を5%削減する。	対基準値1% 削減	対基準値3% 削減	対基準値5% 削減	対基準値5% 削減

5. 対象範囲

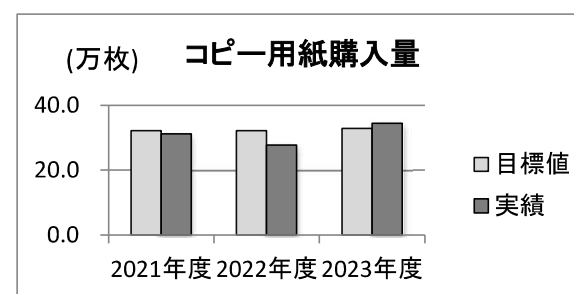
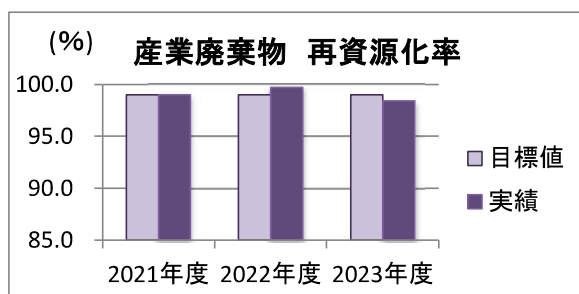
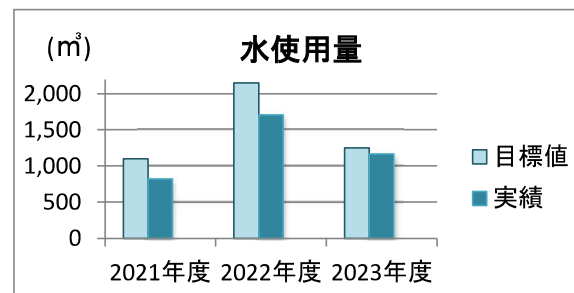
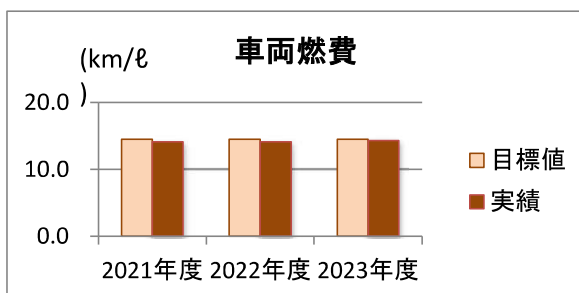
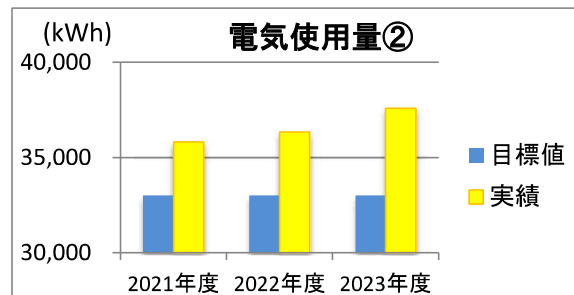
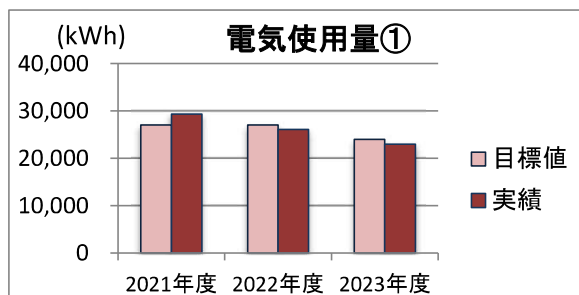
対象範囲



6. 環境経営目標と実績

項目	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度		
			目標	実績	評価 (達成率)
電気使用量①(kWh) (事務所の受口、照明)	29,368	26,082	24,000	23,015	○ (95.9%)
電気使用量②(kWh) (エアコン・換気扇等)	35,812	36,320	33,000	37,584	× (113.9%)
車両燃費(km/ℓ) (軽四、普通車)	14.1	14.1	14.5	14.3	× (98.3%)
水使用量 (m³)	820	1,704	1,250	1,165	○ (93.2%)
産業廃棄物 再資源化率 (%)	99.0	99.7	99.0	98.4	× (99.4%)
コピー用紙購入量(万枚) (対基準値%)	31.2 (▲3.0%)	27.7 (▲13.3%)	32.8	34.4	× (104.8%)
※参考 CO2総排出量(kg-CO2) (CO2排出係数)	115,823 (0.465)	113,807 (0.465)	—	123,604 (0.465)	—

※CO2排出係数は北陸電力㈱2020年度CO2調整後の排出係数を使用



7. 環境経営活動の取組内容と取組結果及び今後の課題

取組内容	取組結果及び今後の課題
電気(受口) 1. 共有スペース(ミーティング室、商談コーナー)は使用後照明を切る。 2. 休憩時間や残業時間は作業エリア外の照明をこまめに切る。 3. PCは、90分以内の離席ではスリープモードを、それを超えるときは電源を切る。 4. 離席時、照明区分内に人が不在となる場合は照明を切る。 5. 公出時、残業時間は作業エリア外の照明をこまめにOFFにする。 電気(空調) 1. 共有スペース(ミーティング室、商談コーナー)は不使用時に空調を切る。 2. 食堂の食事後の切断を徹底する。 3. 空調の温度の設定幅や、稼働時間を設定する。 4. 公出時、残業時間は作業エリア外の空調をこまめにOFFにする。 燃料 1. エコドライブをこころがける(ふんわりアクセル、加減速の少ない運転等)。 2. 近距離での打合せや移動は車の利用を自粛する。 3. 暖気運転をしない。エンジンをかけたままで長時間駐車はしない。 4. 社用車に不要な荷物を積んだままにしない。 5. 夏場は社内の空気を換気してから乗車する。 6. 日常点検を実施しタイヤの空気圧を適正に保つ。 7. 購入に際しては燃費の良い車種、タイヤを選択する。	受口、照明の電気使用量は、6月、1月に計画を若干超過したが、こまめな消灯が続けたことにより消費電力削減が見られた。また第2.3四半期には、勤務時間の削減に伴い、さらに計画を下回る結果に繋がった。食堂の照明器具のLED更新等も良い削減活動結果となった。 エアコン・換気扇等の電気使用量については、1年を通して計画を上回る月が年間の3分の2を占める8回、使用量も昨年実績を大幅に上回り未達となった。 第2四半期に見られた猛暑の影響、後半期には低温の日が続きエアコン使用の日が続いた。各月、温度設定や稼働時間管理等、こまめな対応により削減に努める。2024年度はコロナ前の業務量になってきているため、計画を改めて取り組む。
水 1. 流しっ放しで使用しない。 2. 手洗い終了後は蛇口をキチンと閉める。 3. 水道の蛇口や、水を利用する機器から水漏れなどないか定期的に点検する。 4. 融雪の水の使い方(流量、雪の量などを考慮して)を確認する。	8月にバルブ故障の為、交換等を行ってから、検針値が増加し、高止まりの状態にあった。水量の推移を経過観察する中、日々の計測結果では、1日平均3㎡前後、従業員数と一人当たりの標準使用量から見ると、実績数量に妥当性が見られる。月次の計画を検討する必要がある 最終四半期の融雪稼働を見込んだ計画であったので、降雪量が少なかったことにより、実績数量は少なく、年間計画を下回る結果となった。
産業廃棄物 1. 廃棄物の分別を徹底する。 2. 電子マニフェスト取引を基本とし業者を選定する。 3. 普段取引の少ない業者には都度再資源化の徹底を依頼する。 4. 廃石綿等の再資源化の施設の現地確認を実施する。 5. 産業廃棄物と有価物の分類をする。	第1四半期で、250t弱の産業廃棄物が発生したので、年間排出量が1000tを超える多量排出となる可能性も考えられたが、事前予想に反して年間400t強の実績数量となった。1月には県外工事に伴う廃棄物処理において、混合廃棄物(安定型)の処分となった為、再資源化とならなかった。結果、1月の再資源化率が82.2%と下回った。年間の実績結果にも1月の再資源化率が影響し、計画を下回る結果となった。今後は、業者の排出基準を踏まえ、現場へ明確に周知し、再資源化できる分別に取り組む。
紙類 1. 試し刷りはドキュワークス、PDFを利用する。個人保管用の書類は基本的にデータで保存する。 2. 提出書類などでも両面印刷可能なものは、両面印刷とする。 3. 利用できる裏紙は、裏紙コピー可能BOXに入れる。 4. 裏紙可能BOXにカラープリント、ベタ刷りのもの、ホッチキスでとめた物、破れた物を入れない。 5. 電子データ化によるペーパーレス化及び電子データ回覧を推進する。	最終四半期でコピー紙の値上げ対応として、年度末に在庫として大量購入したため、計画値を下回る結果となった。 2024年度もペーパーレス化に継続的に取り組む。
化学物質の適正管理 1. 新規購入品を検討した際に化学物質が含まれるか仕入先に確認し、含まれている場合はSDSを入手する。 2. SDSの中に有害情報があれば、リスクアセスメントを実施し公開する。 3. 油性塗料から水性塗料へ移行していく 4. 廃棄塗料缶は一箇所にまとめて産業廃棄物として適正に排出する 5. 3S/パトロール時に確認する。	化学物質管理法制の対応の一つとして、塗料については、油性から水性塗料へ代替できるか試行、塗布結果等からは、品質等においては、特に問題なしとされているので移行していく。 在庫塗料等の保管期間超過、品質保持の劣化により、処分を行ったため、管理対象がほぼ無くなった。今後は塗料以外の化学物質購入時の対応を含め管理体制の強化を図る
環境に配慮した設備の提供 地球温暖化防止効果の高い設備と効率化の提案を推進する。 (照明のLED化、アモルフアス変圧器、高効率空調、脱フロン、生物分解システム等)	毎月環境に配慮した工事实績があった。

8. 2024度の環境経営目標と取組内容

項目	年度目標	取組内容
電気	本社事務所の受口と照明の電気使用量を、23,000KWHまで削減する。 エアコン・換気扇等の年間電気使用量を、2023年度未達結果となった為、36,000KWHまで削減する。	- 共有スペース(ミーティング室、商談コーナー)は使用后照明を切る。 - 休憩時間や残業時間は作業エリア外の照明をこまめに切る。 - PCは、90分以内の離席ではスリープモードを、それを超えるときは電源を切る。 - 離席時、照明区分内に人が不在となる場合は照明を切る。 - 共有スペース(ミーティング室、商談コーナー)は不使用時に空調を切る。 - 食堂の食事後の切断を徹底する。 - 空調の温度の設定幅や、稼働時間を設定する。
燃料	軽四自動車と普通車の燃費の向上を図り、2023年度未達結果だった為、再度、平均燃費 14.5 km/L 以上とする。	- エコドライブをこころがける(ふんわりアクセル、加減速の少ない運転等)。 - 近距離での打合せや移動は車の利用を自粛する。 - 暖気運転をしない。エンジンをかけたままで長時間駐車はしない。 - 社用車に不要な荷物を積んだままにしない。 - 夏場は社内の空気を換気してから乗車する。 - 日常点検を実施し空気圧を適正に保つ。 - 購入に際しては燃費の良い車種、タイヤを選択する。
水	黒部エムテック事務所棟の年間水使用量を、1,380m3以下とする。	- 流しっ放しで使用しない。 - 手洗い終了後は蛇口をキチンと閉める。 - 水道の蛇口や、水を利用する機器から水漏れなどないか定期的に点検する。 - 融雪の水の使い方(流量、雪の量などを考慮して)を確認する。
産業廃棄物	再資源化率を99%以上とする。 (廃石綿等を含む)	- 廃棄物の分別を徹底する。 - 電子マニフェスト取引を基本とし業者を選定する。 - 普段取引の少ない業者には都度再資源化の徹底を依頼する。 - 廃石綿等の再資源化の施設の現地確認を実施する。
紙類	年間21万枚をベースに、各年の売上高計画 百万円当り33枚を加算し、各年の基準値とする。基準値に対し購入量を2023年度に達成できなかった5%削減する。	- 試し刷りはドキュワークス、PDFを利用する。個人保管用の書類は基本データで保存する。 - 提出書類などでも両面印刷可能なものは、両面印刷とする。 - 利用できる裏紙は、裏紙コピー可能BOXに入れる。 - 裏紙可能BOXにカラープリント、ベタ刷りのもの、ホッチキスでとめた物、破れた物を入れない。 - 電子データ化によるペーパーレス化及び電子データ回覧を推進する。 - 改正電子帳簿保存法の対応を進める。
化学物質の適正管理	新規購入品の購入に際して、化学物質が含むれるか確認し、含まれている場合は所定の手続きを行う。	- 新規購入品を検討した際に化学物質が含まれるか仕入先に確認し、含まれている場合はSDSを入手する。 - SDSの中に有害情報があれば、リスクアセスメントを実施し公開する。 - 購入時の審査から漏れた化学物質が確認されたときは、速やかに安全環境チームに連絡し安全管理チームはSDSを取得しリスクアセスメントを実施し公開するか、廃棄する。 3Sパトロール時に確認する。
環境に配慮した設備の提供	地球温暖化防止効果の高い設備と効率化の提案を推進する。 (照明のLED化、アモルファス変圧器、高効率空調、脱フロン、生物分解システム等)	

9. 環境関連法規等遵守状況の確認

	手続き・遵守事項	法順守の確認方法	遵守確認 (適/否)
廃棄物処理法	・産業廃棄物の適正処理 ・許可業者との委託契約の締結 ・マニフェストの適正発行と保管	・委託契約書・許可期限等の確認状況 ・マニフェストの記載事項の確認 ・B2、D、E票の受領確認	適
建設リサイクル法	対象建設工事における特定建設 資材の再資源化の義務	・委託契約書・許可期限等の確認状況 ・マニフェストの記載事項の確認 ・B2、D、E票の受領確認	適
家電リサイクル法	特定家庭用機器の適正処理 (リサイクル券の保管)	リサイクル券の確認	適
フロン排出抑制法	第一種特定製品の廃棄時における フロンの適正処理 業務上のエアコン・冷蔵冷凍機器の 簡易定期点検及び定期点検の実施	行程管理票を確認 簡易定期点検記録表を確認 定期点検記録報告書を確認	適
PCB特別措置法	PCB含有機器の適正保管と処理	PCB含有機器運行記録書で確認 (対象業務は無し)	—
浄化槽法	保守点検、法定検査	点検報告書を確認	適
消防法	消防機器は6ヶ月、総合点検は1年 3年ごとに点検記録を消防署へ提出	点検記録や届出控を確認	適
労働安全衛生法	化学物質のリスクアセスメントの実施	実施レポート、対策シートを確認	—

※ 環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、法令違反はありませんでした。
また、関係機関等よりの指摘及び利害関係者からの訴訟もありませんでした。

10. 代表者による全体評価と見直し

2023年度における環境目標は、全8項目のなかで、電気使用量(エアコン)、燃料(業務車両の燃費)、産業廃棄物(再資源化率99%以上)、紙類(コピー用紙)の4項目が目標未達となりました。

特に、電気使用量については、コロナ禍前の業務状態に戻りつつあるため、2024年度の目標値を上振れで再設定しますが、引き続き設定温度の運用徹底を強化してください。また、業務車両の燃費については、2023年度に6台、2024年度に5台の高燃費車両の更新により改善されることを期待します。

産業廃棄物処理については、県外工場での産業廃棄物処理業者の選定が遅れたことが原因だったため、県外工場での大型工事予定については、あらかじめ産業廃棄物処理方法を担当者に確認する体制を整えていって下さい。

2023年度の達成状況を踏まえた2024年度以降の電気、燃料、水使用量の目標値見直しについて承認しましたので、目標達成に向け取り組んでいって下さい。

黒部エムテックにおいても、YKKグループの「YKKサステナビリティビジョン2050」の下、自社目標の達成に向けて取り組み、YKKグループの環境目標達成に貢献していくことを期待します。

項目	変更の必要性	指示事項
1 環境経営方針	無	2024年度環境経営方針を承認する。
2 環境経営目標	有	2024年度環境経営目標を承認する。
3 環境経営活動計画	無	2024年度環境経営活動計画表を承認する。
4 実施体制	無	2024年度実施体制を承認する。

11. 環境経営活動の紹介

環境対策の取組

- ・3階食堂の照明のLED化
- ・1階西側階段下の貯水槽バルブ及び滅菌機の交換工事
- ・エアコンの温度設定変更制限、消し忘れ対策の実施
- ・社有車の一斉日常点検実施(毎月)
- ・高燃費車への入替
- ・1階女子トイレ蛇口の交換
- ・産業廃棄物の分別の継続
- ・クリーン作戦(清掃ボランティア活動)

3階 食堂のLED化対応



1階 西側階段下 貯水槽のバルブ交換工事(滅菌機も同時交換)



高燃費車への入替



1階女子トイレ蛇口の交換(1部)

